

第1号議案

平成30(2018)年度事業報告について

概要

平成30(2018)年度の日本経済は、平成24(2012)年12月に始まった景気回復が戦後の最長期間を超えようとしています。米中経済摩擦等不安定要因があるものの全体的には、雇用所得環境の改善や企業収益の改善と旺盛な設備投資、世界経済の同時回復により好調を維持し、他方、少子高齢化が進展し労働力人口が減少する中、有効求人倍率がバブル期を超えるとともに、高年齢者の雇用状況は、65歳まで雇用確保措置を取っている企業が99.8%に達するとともに着実に進行しています。

そのような中、平成30(2018)年度、当センターにおいては、会員数の確保や就業条件の改善、事故の減少などの取組みを重点的に実施しました。

会員数については、平成21(2009)年度をピークに連続して減り続け今年度は2,660人となる一方、新入会員については増加に転じ取組みの成果が現れています。就業条件の改善については、令和元年度を迎えるにあたり、新たな配分金単価をベースにスタートすることができました。事故については、傷害事故、賠償事故のいずれにおいても、過去5年平均を下回ることとなり一定の成果を得ることができました。

請負と派遣の合計での主な指標については、契約金額については、19,720,727円減少し1,520,140,676円に、就業実人員は、10人減少し2,326人に、就業延人員は10,059人減少し302,426人となりました。その一方就業率は、2.1%増加し、87.4%となりました。

以下、事業の実施状況について報告します。

1 会員の確保及び育成

(1) 新規会員獲得に向けて以下の方策を講じた。

- ① 入会説明会を交通の利便性が高い「じばさんびる」で開催し、勤労市民会館に来ることができない市民が参加しやすいよう対応した。
- ② 会員募集チラシについては、広報ひめじでの折り込み全戸配布や地区班長による配布を行った。
- ③ 新たに、神姫バス車内広告の実施及びホームページトップページの改良を行い、公用車の会員募集ポスターの掲示を継続した。
- ④ 新たに地域ミニコミ誌への広告掲載を開始、また広報ひめじのミニ掲示板に会員募集の記事を掲載いただいた。求人情報誌等への広告を継続した。
- ⑤ 「生涯現役フェスティバル」や各種セミナー等においてシルバー人材センターの宣伝及び会員募集を呼びかけた。
- ⑥ 会員の口コミによる新規会員の獲得に向けキャンペーンを通年化した。

(2) 4連絡所においては、随時の入会説明及び入会手続きに対応した。

(3) 技能を必要とする職種の後継者の育成、新たな就業会員の掘り起こし並びに技能の向上を図るため、各種の講習会を実施した。

講習名	実施日	会場	受講者
植木剪定講習会	平成31年 3月 5日(火) 平成31年 3月 6日(水)	姫路市名古屋山霊苑	53名
草刈り安全講習会	平成31年 3月15日(金)	姫路市勤労市民会館 姫路市手柄山公園	67名
筆耕講習会	平成30年11月29日(木) 平成30年11月30日(金)	姫路市勤労市民会館	22名
筆耕研修会	平成30年 6月～ 平成31年 3月(年10回)	イーグレひめじ	14名

- (4) 新入会員及び就業希望会員に就業機会を積極的に提供し、退会者の減少に努めた。

2 就業に関する情報収集、情報提供及び調査研究

- (1) 会報「姫路しるばあ」を年2回、「会員だより」を年10回発行し、会員及び関係団体等に就業状況を含む多様な情報を提供した。また、ホームページを活用し広く市民・会員に情報を提供し事業の普及啓発活動を推進した。
- (2) 姫路市、(公社)兵庫県シルバー人材センター協会(以下「兵シ協」という。)、(公社)全国シルバー人材センター事業協会(以下「全シ協」という。)等と連携し高年齢者の就業に関する情報の収集に努め、県下、全国の状況を把握し事業運営の参考とした。
- (3) 地域の就業ニーズについて、企業や一般家庭等への訪問による情報収集や情報提供を行い就業機会の拡大及びセンターの広報、事業の拡大に努めた。

3 就業相談の実施

- (1) 新入会員や未就業者の就業相談を毎月2回実施した。
- (2) 就業相談においては、会員のニーズを十分把握しつつ多様な業務の紹介を行い、マッチングを積極的に行い、ミスマッチ及び未就業者の減少に努めた。
・相談回数 24回、相談件数161件

4 就業機会の確保及び提供

- (1) 全シ協の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に併せ、パンフレットを全戸配布し、仕事の受注及び会員募集を全市民に呼びかけ、就業機会の拡大及び会員確保に努めた。
- (2) チラシやパンフレットの配布、FMゲンキ等多様な広報媒体を活用することにより就業機会の確保に努めた。
- (3) 家事援助、子育て支援サービス事業で市民ニーズに対応するため講習会を実施した。

講習名	実施日	会場	受講者
高齢者向き料理教室	平成30年4月～ 平成31年3月(10回)	姫路市市民会館	20名

- (4) 兵シ協が実施する一般労働者派遣事業と有料職業紹介事業の実施事業所として各事業に取り組んだ。

5 安全・適正就業対策の推進(「事故0」を目指す)

- (1) 会員が就業中に安全就業基準に反して第三者に損害を与えたとき賠償額の一部に相当す

る額を負担する制度を平成30(2018)年4月1日から実施した。

- (2) あらゆる機会をとらえて賠償額の一部負担制度の周知徹底を図るとともに、「安全就業基準」「作業別安全就業基準」「会員の就業制限等に係る基準」等を紹介し、会員の安全意識の向上を図り事故防止に努めた。
- (3) 安全パトロールを毎月実施し、就業環境の確認と安全適正就業の徹底を図った。
- (4) 事故発生の場合、現場検証し事故原因を調査、再発防止のため安全対策の研究を行った。
- (5) 事故については、速やかに全会員へ報告し、安全就業への注意を呼びかけ安全意識の向上に努めた。平成30(2018)年11月に発生した死亡事故については、臨時理事会を開催、その後あらゆる機会をとらえて再発防止に向け安全意識の向上を図るなど対策を講じた。
- (6) 草刈り、植木剪定作業では講習会を開催し、事故事例を紹介し安全用具の着用など安全就業基準遵守の徹底を図った。刈払機除草作業の石跳ね事故については、作業チェックシートを活用及び防護ネットの徹底を呼びかけた。
- (7) 事故を起こした会員には、安全就業に関する講習に参加させた。また、安全就業基準に反して賠償額5万円を超える事故を起こした場合、賠償額の一部に相当する額を負担いただいた。(翌年度保険料に充当)
- (8) 会員の就業途上、帰宅途上の交通事故発生を防止するため自動車・自転車の交通安全講習会を実施するなど安全意識の向上に努めた。

講習名	実施日	会場	受講者
自動車安全運転講習会	平成31年 1月18日 (金)	兵庫県自動車学校姫路校	17名
自転車安全運転講習会	平成31年 3月18日 (月)	姫路市勤労市民会館	14名

- (9) 安全就業強化月間(7月)を設定し、健康・安全の意識高揚を図った。
- (10) 会報「姫路するばあ」及び「会員だより」で、自己の健康管理をはじめ安全就業の啓発記事を掲載し事故の防止に努めた。
- (11) 事業の自主点検を実施し適正就業に努めた。

新規事業を中心に、受注時には危険・有害作業等の峻別、現場確認等を行うなど事故防止に向け危険要素の低減、除去に努めた。

事故発生件数の推移

	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	5年平均	H30年度 (2018)
傷害事故	35	31	31	27	18	28.4	24
賠償事故	23	21	18	18	28	21.6	7 ※5

※ 賠償額の一部負担が発生した事故件数

6 運営体制の充実強化

- (1) 理事会・部会を随時開催し、事業運営、就業機会の開拓、会員の確保、安全・適正就業等について組織的に取り組み充実に努めた。
- (2) 地域班長会を開催し、会員相互及び会員と役員相互の情報交換、意見交換を行い、連携を強化するとともに会員組織の充実に努めた。

- (3) 「姫路のまちを美しくする運動協議会」が主催する「姫路城クリーン作戦」に多数の会員が参加、共働、共助意識の下に地域社会へ貢献するとともにシルバー会員の働きぶりをアピールした。

・実施日 平成30(2018)年12月21日(金) 参加者 29名

- (4) 「姫路医療センター付属看護学校」が老年看護学習の一環で実施する体験学習に協力した。

・実施日 平成30(2018)年12月19日(水)・20日(木)

- (5) 職員会議やコーディネーター会議、現場担当者会議、朝礼等を活用し、事業経営の方向性を共有し職員のあるべき姿等を意識することにより事務局職員の意識改革を推進した。

- (6) 業務研修に積極的に参加し、業務上必要な知識の再点検を行い、事務処理能力の向上に努めた。

7 魅力あるセンターづくりの推進

- (1) センター事業の目的や仕組みをはじめ、事業活動を広く市民にPRするとともに会員の相互交流・親睦を図るため、「第7回姫路シルバーまつり」を開催した。

・実施日 平成30(2018)年11月18日(日)午前10時30分～午後4時

・場所 姫路市勤労市民会館

・来場者数 約1,000名

- (2) 姫路市施設見学会への参加及び姫路市文化国際交流財団主催の会員文化事業の割引幹旋を行った。

① 施設見学会 平成30(2018)年9月20日(木) 参加者35名

② 会員文化事業 幹旋した催し物 12種、107名

貸借対照表(案)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	176,400	176,400	0
普通預金	190,169,859	167,285,115	22,884,744
未収金	124,296,237	127,603,309	△ 3,307,072
前払金	6,430,078	6,034,203	395,875
立替金	0	0	0
流動資産合計	321,072,574	301,099,027	19,973,547
2 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	3,267,430	15,898,160	△ 12,630,730
減価償却引当資産	24,997,931	24,761,730	236,201
財政運営資金積立資産	51,742,585	51,738,085	4,500
記念事業積立資産	9,000,000	7,000,000	2,000,000
事務所移転積立資産	0	0	0
特定資産合計	89,007,946	99,397,975	△ 10,390,029
(2) その他固定資産			
建 物	807,599	1,089,615	△ 282,016
車両運搬具	1,088,220	3,472,764	△ 2,384,544
什器備品	2,683,957	4	2,683,953
電話加入権	544,110	544,110	0
預託金	85,360	91,060	△ 5,700
その他固定資産計	5,209,246	5,197,553	11,693
固定資産合計	94,217,192	104,595,528	△ 10,378,336
資産合計	415,289,766	405,694,555	9,595,211
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	123,795,791	107,348,147	16,447,644
預り金	841,792	820,711	21,081
前受金	30,768	14,400	16,368
流動負債合計	124,668,351	108,183,258	16,485,093
2 固定負債			
退職給付引当金	3,267,430	15,898,160	△ 12,630,730
固定負債合計	3,267,430	15,898,160	△ 12,630,730
負債合計	127,935,781	124,081,418	3,854,363
III 正味財産の部			
1 一般正味財産			
一般正味財産合計	287,353,985	281,613,137	5,740,848
(うち特定資産充当額)	(99,397,975)	(99,397,975)	(5,284)
正味財産合計	287,353,985	281,613,137	5,740,848
負債及び正味財産合計	415,289,766	405,694,555	9,595,211

平成30年度 正味財産増減計算書

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	1,426,649,121	1,449,734,923	△ 23,085,802
受取配分金	1,284,315,356	1,307,972,315	△ 23,656,959
受取材料費等	35,517,830	32,187,143	3,330,687
受取事務費	106,815,935	109,575,465	△ 2,759,530
労働者派遣事業等受託収益	9,051,480	7,920,720	1,130,760
労働者派遣事業受託収益	9,051,480	7,920,720	1,130,760
職業紹介事業受託収益	0	0	0
職業紹介事業受託収益	0	0	0
地域人づくり事業受託収益	0	0	0
地域人づくり事業受託収益	0	0	0
受取会費	6,504,200	6,616,200	△ 112,000
正会員受取会費	6,504,200	6,616,200	△ 112,000
受取補助金等	37,500,000	37,500,000	0
受取連合交付金	13,000,000	13,000,000	0
受取市補助金	24,500,000	24,500,000	0
移転補償金	0	0	0
雑収益	1,588,656	947,278	641,378
受取利息	8,319	7,047	1,272
雑収益	1,580,337	940,231	640,106
経常収益計	1,481,293,457	1,502,719,121	△ 21,425,664
(2) 経常費用			
事業費	1,459,830,268	1,467,322,130	△ 7,491,862
支払配分金	1,284,315,356	1,307,972,315	△ 23,656,959
支払材料費等	20,397,518	17,533,938	2,863,580
給料手当	29,304,033	28,028,878	1,275,155
臨時雇賃金	30,729,219	29,360,771	1,368,448
法定福利費	11,774,018	11,131,979	642,039
退職給付費用	2,232,710	574,800	1,657,910
福利厚生費	1,494,218	697,084	797,134
会議費	104,580	94,776	9,804
旅費交通費	259,780	223,310	36,470
通信運搬費	7,918,913	7,777,193	141,720
減価償却費	3,136,201	0	3,136,201
什器備品費	377,337	694,730	△ 317,393
消耗品費	6,078,511	5,581,274	497,237
修繕費	1,822,359	2,687,214	△ 864,855
印刷製本費	3,395,910	3,765,862	△ 369,952
光熱水料費	1,587,520	1,350,091	237,429
賃借料	11,081,164	10,672,526	408,638
保険料	14,535,280	13,928,690	606,590

科 目	当年度	前年度	増減
諸謝金	11,937,692	11,625,094	312,598
租税公課	8,434,572	5,202,600	3,231,972
支払負担金	58,725	61,950	△ 3,225
委託費	7,712,405	7,627,262	85,143
教材費	137,191	78,105	59,086
雑費	1,005,056	651,688	353,368
管理費	15,722,335	14,898,808	823,527
役員報酬	6,876,416	6,802,416	74,000
給料手当	2,394,420	1,871,492	522,928
法定福利費	1,198,456	1,568,464	△ 370,008
退職給付費用	25,200	25,200	0
福利厚生費	18,000	15,000	3,000
会議費	1,486,562	1,221,442	265,120
旅費交通費	822,420	853,660	△ 31,240
通信運搬費	404,459	730,005	△ 325,546
消耗品費	27,926	49,916	△ 21,990
印刷製本費	181,380	243,351	△ 61,971
光熱水料費	102,231	109,555	△ 7,324
賃借料	291,990	311,724	△ 19,734
保険料	161,070	55,787	105,283
支払負担金	504,240	681,300	△ 177,060
委託費	1,124,738	288,320	836,418
雑費	102,827	71,176	31,651
経常費用計	1,475,552,603	1,482,220,938	△ 6,668,335
評価損益等調整前当期経常増減額	5,740,854	20,498,183	△ 14,757,329
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,740,854	20,498,183	△ 14,757,329
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
車両運搬具売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却(除却)損	6	2	4
車両運搬具除却損	5	2	3
什器備品除却損	1	0	1
建物除却損	0	0	0
経常外費用計	6	2	4
当期経常外増減額	△ 6	△ 2	△ 4
当期一般正味財産増減額	5,740,848	20,498,181	△ 14,757,333
一般正味財産期首残高	281,613,137	261,114,956	20,498,181
一般正味財産期末残高	287,353,985	281,613,137	5,740,848
Ⅱ 正味財産期末残高	287,353,985	281,613,137	5,740,848

第3号議案

特別会員の承認について

公益社団法人姫路市シルバー人材センター定款第5条第1項第2号に基づき次の者を特別会員にすることについて総会の承認を求めます。

高 島 隆三郎

姫路商工会議所常議員

長谷川 義 晃

元姫路市参事

山 口 福 夫

元姫路市参事

第4号議案

役員の選任について

公益社団法人姫路市シルバー人材センター定款第21条第1項に基づき、次のとおり役員を選任することについて総会の承認を求めます。

役職名	氏名	備考
理事	浅田 敦之	姫路商工会議所事務局長
理事	石田 和己	会 員
理事	和泉 俊員	会 員
理事	市岡 千弘	元姫路市理事
理事	勝岡 郁夫	会 員
理事	河南 眞稚子	姫路市連合婦人会副会長
理事	佐野 直人	姫路市産業局長
理事	背山 重雄	会 員
理事	高島 隆三郎	姫路商工会議所常議員
理事	高寄 辰則	元姫路市参事
理事	長田 秀人	姫路市連合自治会副会長
理事	成瀬 恵子	姫路経営者協会事務局長
理事	難波 功	姫路市老人クラブ連合会副会長
理事	長谷川 雄三	姫路経営者協会副会長
理事	長谷川 義晃	元姫路市参事
理事	宮脇 三幸	会 員
理事	山口 福夫	元姫路市参事
理事	横治 正明	姫路市連合自治会会計幹事
監事	堤 修	元副理事長
監事	三河 美徳	姫路市財政局財務部長